



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和8年9月7日 No. 18

由利本荘市芸術鑑賞教室 楽しんできました！

1日（火）、カダーレにおいて、「芸術鑑賞教室 下学年の部（1～3年）」が開かれ、東京音楽鑑賞協会による「パフォーマンス『ジーロケッツ☆ジム』」を鑑賞しました。由利本荘市では、市内の小学校及び中学校の児童生徒を対象に、本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことをねらいとして、毎年実施しております。60分の上演ですが、時間が短く感じられるほど楽しい鑑賞会となりました。



<子どもたちの振り返りより>

- ☆ キのう、かだーれにいきました。ばらんすばーで、なんかいもばくてんをしているところがすごかったです。どのわざもすごくて、いっぱいれんしゅうしていると思いました。（1ねん こすけがわ **）
- ☆ わたしがいちばんここにのこったのは、海のふしぎダンスです。やわらかいぬのでフワフワおどっていて、ほんとうに海みたいできれいでした。できないと思うけど、もう一回見たいなと思いました。あと、いしょうもきれいでした。海の色とぴったりでした。ママともいきたかったなと思いました。（2年 いとう ***）
- ☆ ぼくがおもしろかったのは、海のふしぎダンスです。青いはたがきらきらして、ほんとうのなみみたいでした。大きなぬのが上にあがったとき、クラゲに見えました。また見たいです。いしょうもきらきらしてかっこよかったです。（3年 きくち ****）

「何のために」という目的意識を共有する

8/28（金）、下川大内保育園のうみ組（年長児）のみなさんが、夏休み作品展を見に来てくれました。「見て見て、これすごいよ！」「やってみてもいい？」「保育園に戻ったら、僕も作ってみる！」…。優しく手に取って、とても楽しそうに、みんなの作品を見てくれました。うれしいですね。とても印象的だったのは、玄関から学校に入るとき、学校を出るとき、園の先生方が、「座らないでズックを履くんだよ」「地震が起きたとき、座って履いていられないから、立って履く練習だよ」と、子どもたちに声を掛けていたことです。「座らないでズックを履くこと」と、ただ教えるのではなく、「何のために」という目的をきちんと子どもたちに伝えること、それが、子どもたちの納得感にもつながり、自分たちで考えて行動する姿勢に結び付いていきます。こういった言葉掛けを私たちも意識していきたいものです。



4年生「カラス対策」に取り組んでいます

先日、4年生の子どもたちが校長室にやってきました。なぜかという・・・。

畑のヘチマの一部がカラスにやられてしまい、みんなで話し合っ、調べて、対策を考えたこと。問題意識をもち、自分たちでどうにかしようと話し合い、行動を起こしている4年生の姿に感動し、とってもうれしくなりました。自分で調べたカラスについての知識を話したり、自分たちができる対策の中で、より効果的な方法を考えたり、「求めて動く・求めて学ぶ」子どもたちの表情は、とても生き生きとしています。もしうまくいかなかったとしても、「だったら、次はこうしてみよう」の思考につながる頼もしささえ感じました。そして何と、この対策をして以来、カラス被害は見られず、大満足の子どもたちです。すごい！



委員会活動、がんばっています ①

8/26、夏休み明けの委員会活動を経て、それぞれの委員会が大きな一歩を踏み出しています。自分たちの学校生活をよりよくするために、それぞれの委員会を切り口として振り返り、問題意識をもった子どもたちの動きです。これも、とってもうれしい姿です。先生方が・・・ではなく、自分たちで考え、自分たちで動く、うまくいかなかったらまた考えてやってみる、この試行錯誤の体験が、子どもたちのよりよい成長につながっていきます。

< 図書委員会の取組 >

本の貸出冊数が少ない

→ 本に興味をもってもらうには・・・

- ☆ 新刊の本、おすすめの本を紹介しよう。
 - 毎週金曜日の給食の時間に始めました。



< 保健・体育委員会の取組 >

廊下を走っている人がいて危険

→ 廊下の歩き方を見直すには・・・

- ☆ 校内平面図に、シールや付箋を使って「見える化」しよう。
 - 9日（水）呼びかけをします。

